

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：51458

学校名：札幌市立北野台小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

分析

体力・運動能力 <男子>

- 全国平均とほぼ同程度または上回った種目
⇒反復横跳び、ソフトボール投げ
- 前回の記録と同程度または上回った種目
⇒握力、反復横跳び、上体起こし、ソフトボール投げ

- 全国平均を下回った種目
⇒上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走
- 前回の記録よりも下回った種目
⇒長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び

なわ跳びの継続、ラダーコーナーや的当てコーナー等の設置により敏捷性や巧緻性や投球能力が向上し、反復横跳び、ソフトボール投げには一定の成果がみられた。長座体前屈や20mシャトルラン、50m走で全国平均を下回り、柔軟性や全身持久力、疾走能力に課題がみられる。

体力・運動能力 <女子>

- 全国平均とほぼ同程度または上回った種目
⇒反復横跳び
- 前回の記録と同程度または上回った種目
⇒上体起こし、反復横跳び

- 全国平均を下回った種目
⇒長座体前屈、20mシャトルラン
- 前回の記録よりも下回った種目
⇒握力、立ち幅跳び、長座体前屈、20mシャトルラン

なわ跳びの継続、ラダーコーナーの設置により、敏捷性が向上し、反復横跳びに一定の成果がみられた。長座体前屈や20mシャトルランで全国平均を下回り、柔軟性や全身持久力に課題がみられる。

運動・スポーツへの意識、運動習慣

- 「運動が好き」と回答する子どもの割合
⇒男子 95.8% 女子 70.6%
※R6年全国・札幌市平均と比べて男子は上回っているが女子は下回っている。
- 「体育が楽しい」と回答する子どもの割合
⇒男子 89.6% 女子 70.6%
※R6年全国・札幌市平均と比べて男女共に上回っている。

- 「体育授業を除く1週間の総運動時間が60分以上と回答する子どもの割合
⇒男子 95.7% 女子 85.3%
※R6年全国・札幌市平均と結果と比べて、男女ともに上回っている。
- 「地域のスポーツクラブに所属している子どもの割合
⇒男子 45.8% 女子 29.4%
※R6年全国・札幌市平均と結果と比べて、男女ともに下回っている。

「体育が楽しい」という児童は多く、1週間の総運動時間が420分以上とする児童の割合は全国と比較すると高い結果だが、校内で比較すると男女ともに地域のスポーツクラブに所属の有無によって総運動時間が2倍以上異なる結果となっている。運動機会の格差を無くして生涯を通じて運動に親しむ態度を養うためにも、運動の楽しさや大切さを実感できる場を授業時間及び時間外で創出していくことが課題である。

三つの取組

① 体育・保健体育等の授業の充実

② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

具体的な取組

課題探究的な学習の充実

- 授業の中で課題(目標)を子ども自身から引き出し、「分かった」「できた」「楽しい」を実感しながら主体的に学べる授業づくりを行う。
- 用具の充実や場の工夫により、運動量を確保し、体力の向上をねらう。
- ICTを活用しながら、自身の活動を客観視できるようにし、技術の向上を図る。

年間を通じた重点運動の取組

- 毎時間、授業の導入で柔軟運動やなわ跳び、走の運動に取り組み、体力の向上、技能上を図る。
- さくら体操を継続し、怪我の防止・柔軟性の向上を図る。

運動機会の充実を図る環境整備の推進

- 学級の係活動や、異学年交流の充実により、自発的な運動遊びを創出する取組を進める。
- 児童委員会を中心とした運動イベントの充実により運動機会を創出する。
- 休み時間に担任がともに遊んだり、児童会の活動と結び付けたりしながら、体を動かす機会を増やす。
- 学習活動や行事と連動させた運動遊びの場(50m走コース、的当てコーナー・握力計測コーナー)を設置し、児童が自主的に体を動かしたくなる環境を作る。
- 朝の活動(健やかタイム)を設定し、週に1回、柔軟や持久走に取り組む。

保健指導

- 保健便りや生活リズムチェックシートの活用、保健室前の健康に関する掲示物を通して、望ましい生活習慣について啓発していく。

食指導

- 給食と関連付けながら、望ましい食生活について伝えていく。また、給食室前掲示板に給食のレシピを掲示したり、日常的に学級に出向いてミニ食指導をしたりすることで食に対する関心を高めていく。

性に関する指導

- 性差・LGBTQに配慮した教育活動を継続して実施していく。

家庭・地域との連携・協働

- 地域企業やスポーツ団体主催の出前授業の活用により、運動の楽しさを実感できる機会を創出する。
- 校内スポーツテストの結果と分析を家庭と共有することにより、放課後や休日に運動する意識を高めるきっかけづくりを行う。
- 生活リズムチェックシートに取り組むことで、望ましい生活習慣について児童と家庭とが一緒に考え、実践していくためのきっかけづくりを行う。